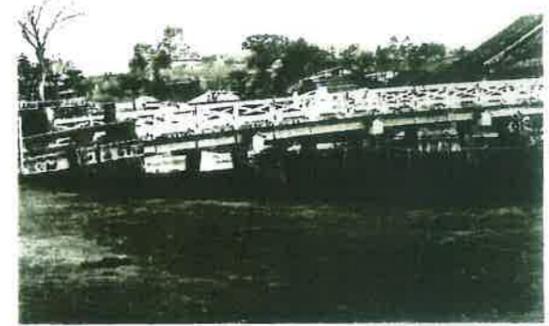


街をつなぐ



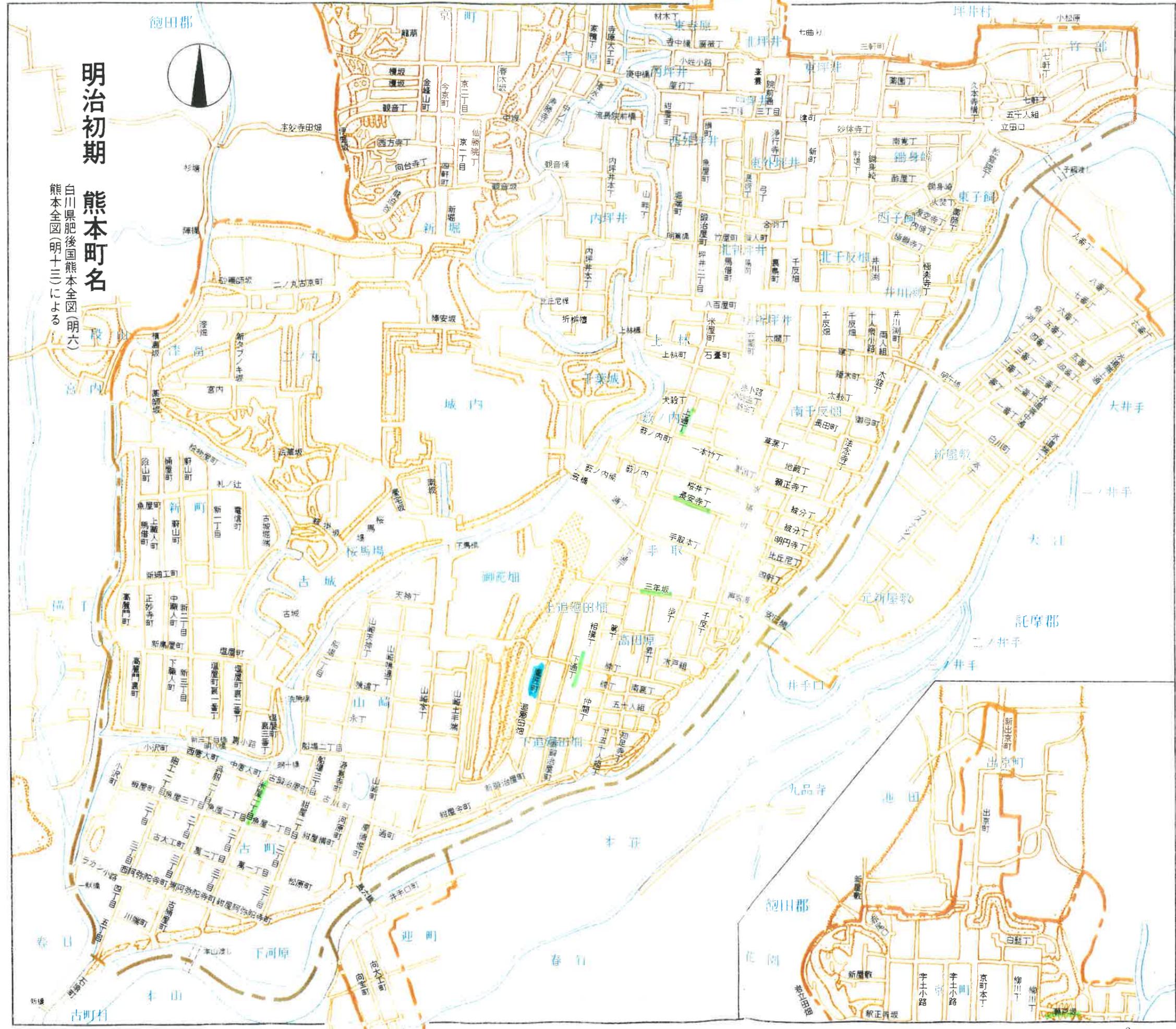
明治初期の長六橋 薩摩街道が白川を跨ぐ重要な橋で慶長6年の架設。対岸は迎町の町並み。昭和2年現在の鉄橋に架け替えられた。



熊本城焼失前の洗馬橋 橋の両岸に坪井川を運航する船の着船場があった。正面に焼失前の両天守が聳え、左手の白い柵は古城の県庁である。



西南戦争直後の下馬橋 中央白壁の櫓は書物櫓、右手は馬具櫓の石垣。薩軍総攻撃で桐野利秋の大隊が攻撃した。明治35年に撤去されやや下流に行幸橋が架けられた。



明治初期 熊本町名

白川県肥後国熊本全図(明治六) 熊本全図(明治十三)による